

平成19年2月期
決算説明会資料

平成19年4月19日

フロイント産業株式会社
(コード番号6312)

《 目 次 》

1. 平成19年2月期 決算概要

(1) 平成19年2月期の総括	4
(2) 平成19年2月期 連結損益計算書	5
(3) 平成19年2月期 連結貸借対照表	6
(4) 連結売上高の推移	7
(5) セグメント別分析	8
(6) 機械部門の受注高・期末受注残高の推移	9

2. 平成20年2月期 業績予想

(1) 平成20年2月期の連結業績予想	1 1
(2) 売上高・営業利益の推移（予想）	1 2
(3) 設備投資額・研究開発費の推移（予想）	1 3
(4) セグメント別事業計画	1 4

3. 中期経営計画（平成18年2月期～平成20年2月期）

○ 基本方針、計数目標	1 6
○ 重要施策	1 7

平成19年2月期 決算概要

平成19年2月期の総括

① 機械部門

- 《国内》
- ・製薬会社の生産体制見直しに伴う設備更新需要があり、大型案件は増加、過去最高の受注高を記録。
 - ・案件の大型化とともに、納品までに相当期間を要する物件も増え、翌期への売上計上を余儀なくされた。
- 《海外》
- ・メガファーマの世界的規模での生産拠点の再配置や後発医薬品企業の積極的な設備投資に支えられ、米国子会社ベクター社の受注高・売上高はともに過去最高を記録。

② 化成品部門

- ・医薬品添加剤 …需要は引き続き伸長。
- ・食品品質保持剤…景気回復とともに市場は拡大。
- ・治験薬製造受託…VPS社は現地顧客の開拓が功を奏し、実績の積上げでリピート受注に繋がり、黒字転換まで今一步となり、継続的に受注を確保出来る状況になる。

売上高は115億39百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は6億15百万円(同5.5%増)、経常利益は6億40百万円(同3.3%減)となりました。

平成19年2月期 連結損益計算書

百万円未満切捨
小数第2位四捨五入

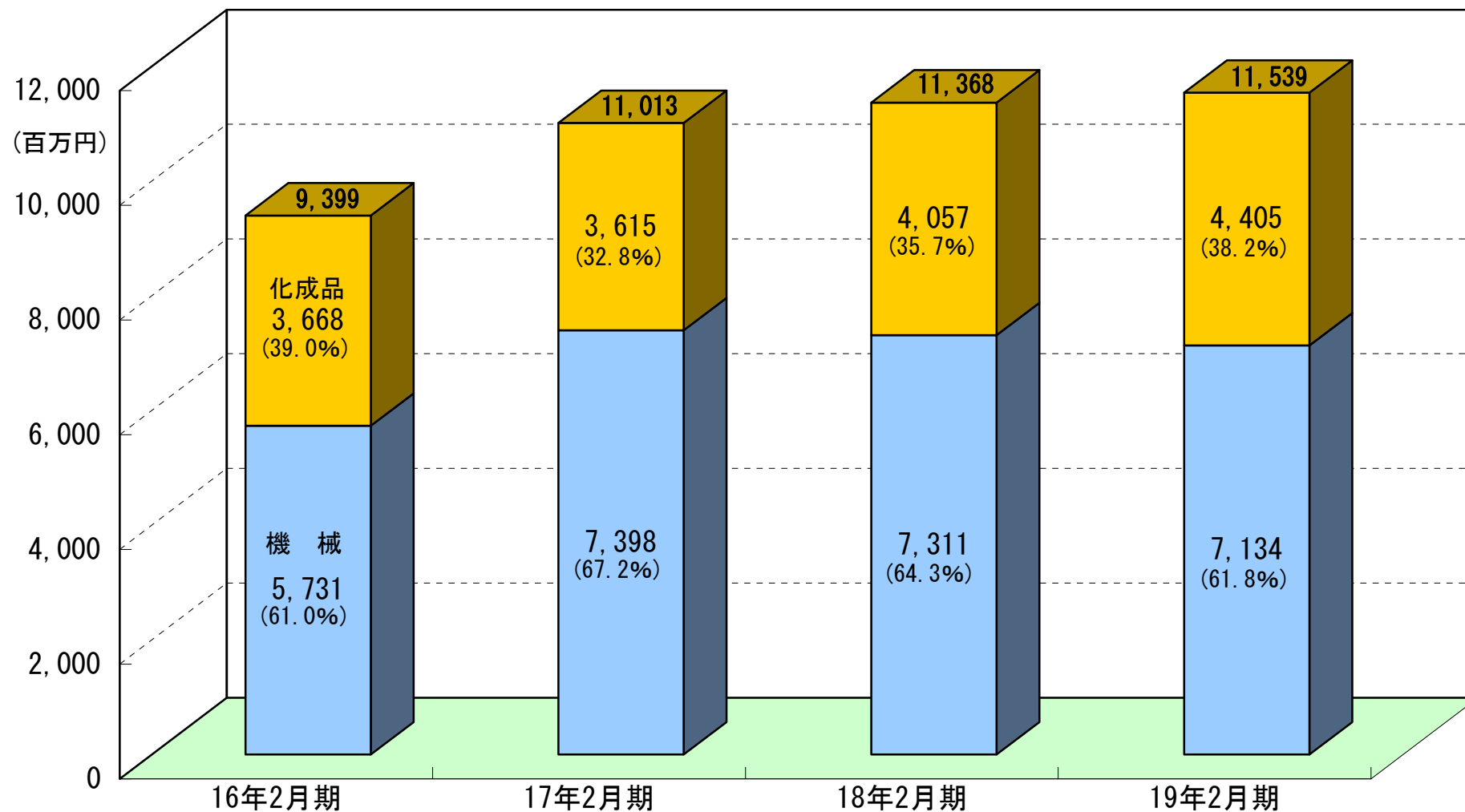
	当 期 19年2月期	前 期 18年2月期	増 減	前期比	説 明
売 上 高	11,539	11,368	170	1.5%	日本…81億12百万円(前期比▲6.5%) 北米…34億27百万円(同 +27.3%)
売上総利益	3,808	3,541	266	7.5%	
販 管 費	3,192	2,958	234	7.9%	
営業利益	615	583	32	5.5%	
経常利益	640	662	▲21	▲3.3%	
税引前当期利益	635	633	1	0.3%	投資有価証券売却益14百万円 不動産売却損 18百万円
当期純利益	403	308	95	31.1%	R&D tax credit(米) \$11万 情報基盤強化税制 11百万円

平成19年2月期 連結貸借対照表

百万円未満切捨
小数第2位四捨五入

	当 期 19年2月期	前 期 18年2月期	増 減	説 明
流動資産	6,359	5,998	361	
固定資産	4,178	4,302	▲124	
有形固定資産	3,028	3,156	▲127	個人住宅用不動産売却 79百万円
無形固定資産	178	108	69	ソフトウェア(社内情報システム) 148百万円
投資その他資産	971	1,037	▲66	投資有価証券売却 22百万円
流動負債	3,168	3,113	54	コミットメントライン2,000百万円(期末残高ゼロ)
固定負債	526	594	▲67	
少数株主持分	(360)	338	—	(少数株主持分は純資産の部へ移動)
資本合計		6,254	—	
純資産合計	6,843		—	
総資産	10,538	10,301	237	

連結売上高の推移



セグメント別分析

■ 機械部門

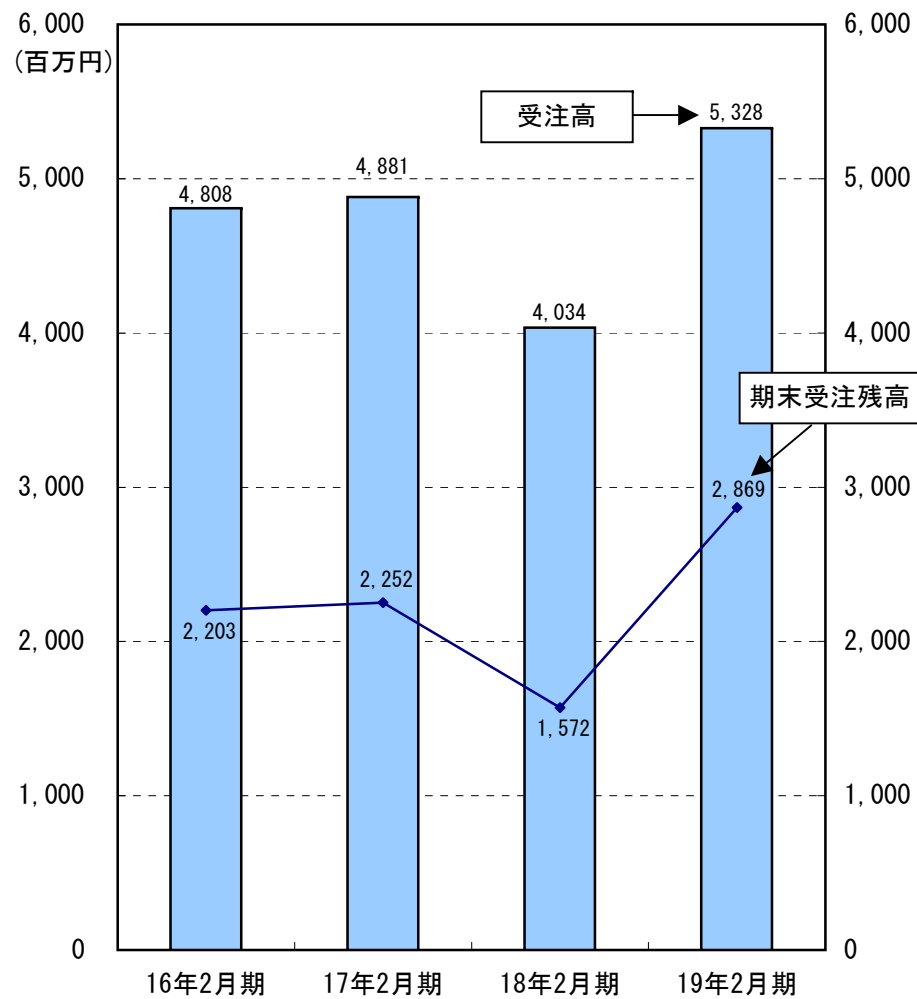
- ① 期初の受注残高は落ち込むも、通期受注高は過去最高を記録
(当社・ベクター社とも)
- ② 当社
 - ・製薬会社の生産体制見直しに伴う設備更新需要があり、複数の大型案件を受注
 - ・新規分野を開拓すべく、食品・健康食品業界などへ積極的に営業展開
- ③ ベクター社
 - ・メガファーマの世界的規模での生産拠点の再配置や、後発医薬品企業の設備投資により、3期連続して売上記録を更新

■ 化成品部門

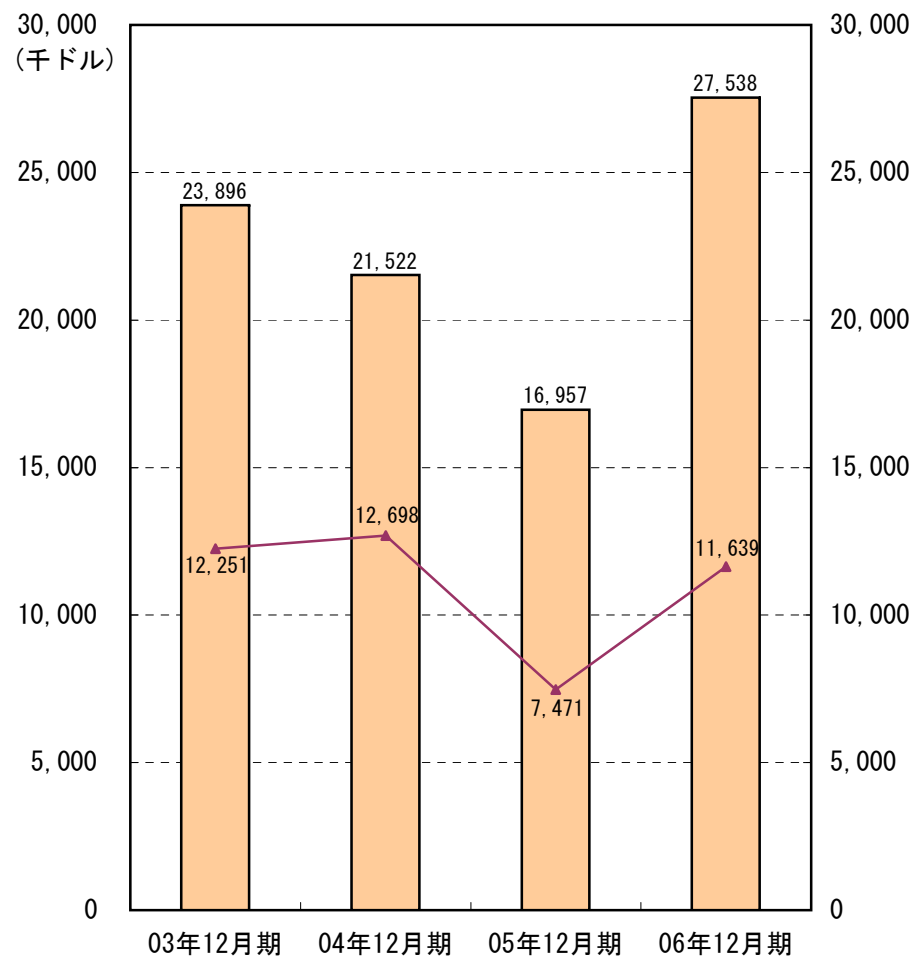
- ① 医薬品添加剤
自社製品の球形顆粒・ノンパレルの需要は堅調に推移
- ② 食品品質保持剤
ユーザー業界の活況による市場拡大と新規開拓により堅調に推移
- ③ V P S 社
現地顧客の開拓と、リピート受注で年後半は黒字転換
継続して安定した受注を確保出来るようになる

機械部門の受注高・期末受注残高の推移

＜当 社＞



＜ベクター社＞



平成20年2月期 業績予想

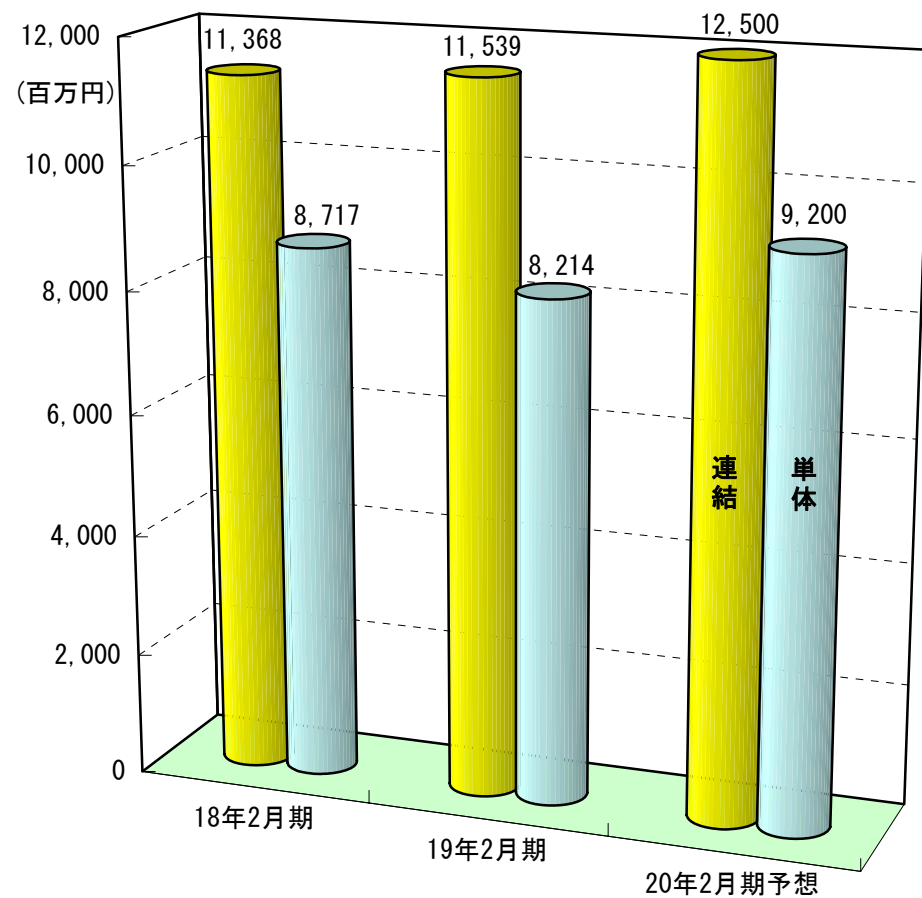
平成20年2月期の連結業績予想

百万円未満切捨
小数第2位四捨五入

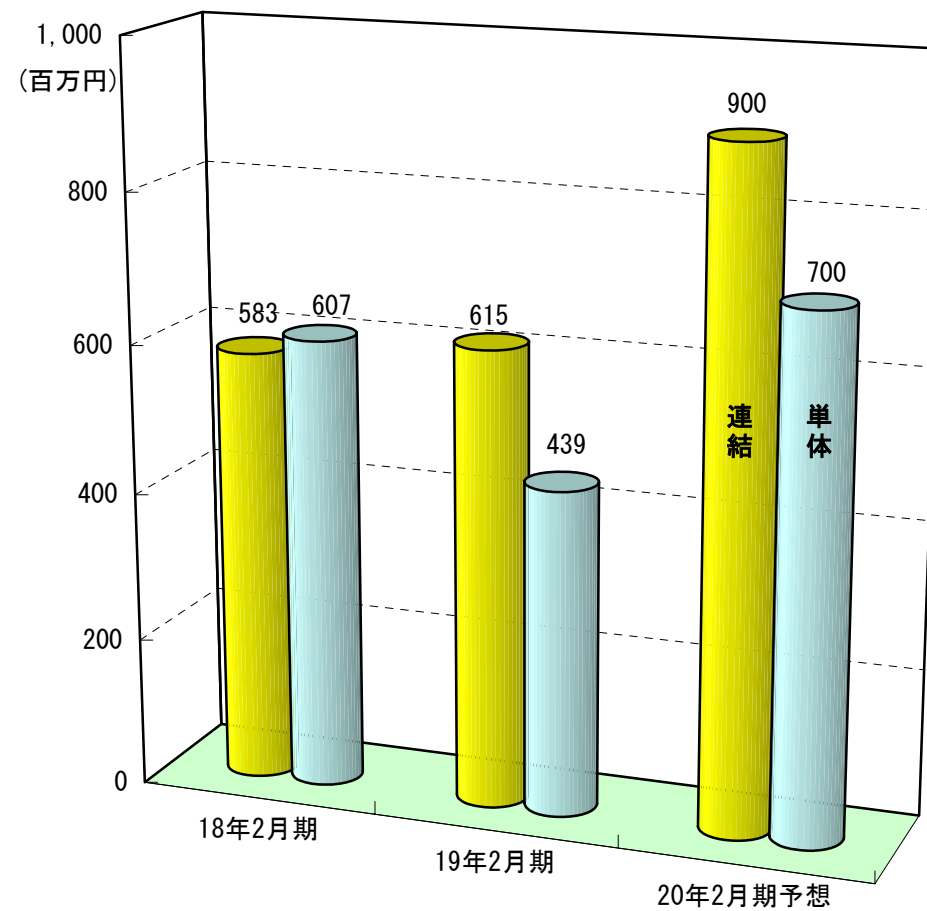
	当 期 19年2月期	業績予想 20年2月期	増 減	前期比	説 明
売 上 高	11,539	12,500	960	8.3%	
営業利益	615	900	284	46.2%	
経常利益	640	900	259	40.5%	
当期純利益	403	550	146	36.2%	

売上高・営業利益の推移（予想）

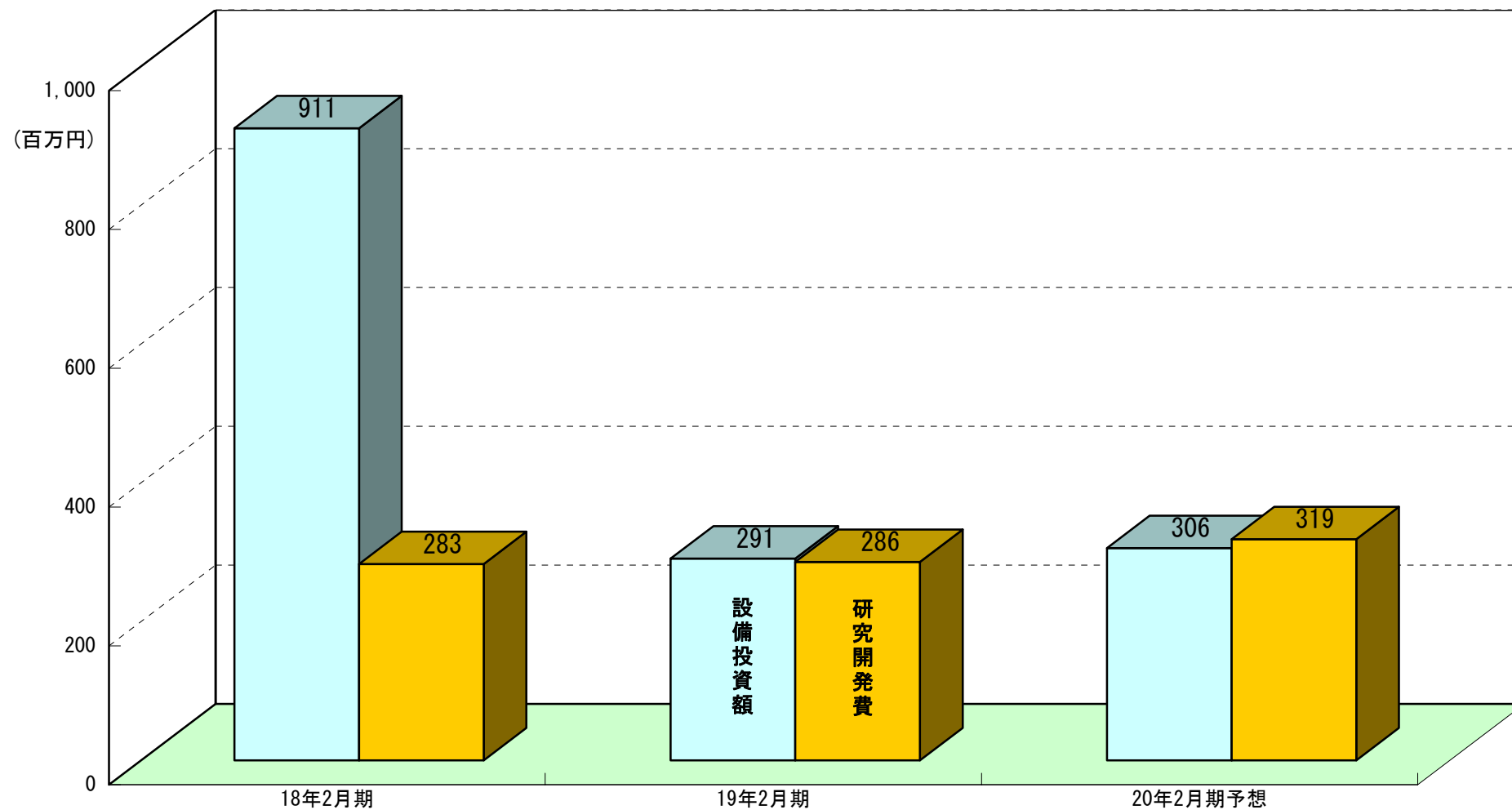
【売上高】



【営業利益】



設備投資額・研究開発費の推移（予想）



セグメント別事業計画

■ 機械部門

- ① 当社
食品・健康食品やファインセラミックスなどの成長分野へ積極的に進出
- ② ベクター社
積極的に受注案件を獲得し、工場の稼働率を高める
- ③ ブランド戦略
2007年出荷分より「FREUND／VECTOR」の統一商標を採用し、ブランド戦略を展開
⇒メガファーマ、中近東・インド・東南アジア等で台頭している後発医薬品企業へ積極的に営業展開

■ 化成品部門

- ① 医薬品添加剤
 - ・新規増産体制のもと、タイムリーにユーザーニーズに応える
 - ・海外での新たな生産体制を構築
 - ・自社開発品を積極的にDMF登録し(※)国際的な製薬企業へアプローチ
- ② 食品品質保持剤
 - ・拡大している市場を深耕
 - ・品質保持剤の添付有・無を判定する自社開発した検知器の拡販
- ③ 治験薬製造受託
増加する受託案件を、効率良く業務運営し、工場の稼働率を高める

※. DMF登録

米国では、医薬品の承認を得るためには、その製剤原料である添加剤についても米国食料医薬品局（FDA）へDrug Master File（DMF）登録維持することが必要となっています。

中期経営計画

(平成18年2月期～平成20年2月期)

< 最終年度 >

□ 基本方針

「国際化への果敢なチャレンジ」

⇒内外のユーザーニーズを捉えた研究開発型企业として、社会的存在価値の向上に取り組む。

□ 計数目標(当初目標⇒業績予想)

計画最終年度(平成20年2月期)の目標

- | | | |
|-----------|-------|-------------------------|
| ・ 連結売上高 | …当初目標 | 1 2 5 億円 |
| | ⇒業績予想 | 1 2 5 億円 |
| ・ 連結営業利益 | …当初目標 | 1 0 億円 (連結営業利益率 8%) |
| | ⇒業績予想 | 9 億円 (▲ 1 億円) |
| ・ 連結当期純利益 | …当初目標 | 6 億円 |
| | ⇒業績予想 | 5 億 5 0 百万円 (▲ 5 0 百万円) |

(1) 成長戦略

- ・造粒及びコーティング技術をキーテクノロジーとした機械装置（ハード）と製剤技術（ソフト）を一体化した技術開発
 - ・グループ各社のシナジー効果
 - ・戦略的業務提携
- などで、意欲的な事業展開を推進

(2) 収益力の向上

- ・一人当たりの生産性向上
 - ・利益の絶対額増加
- などで、収益力を高め、強固な収益構造を目指す

(3) 経営体質強化

事業活動への寄与が期待出来ない資産等は見直し、更なる経営体質の強化を図る

本資料に関するお問い合わせ

フロイント産業株式会社
経営管理本部財務経理グループ

TEL : 03-5908-2631

FAX : 03-5908-2651

E-mail : freund@freund.co.jp